

平成30年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

事業実施報告書

- | | |
|-----|------------------------------------|
| I | スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び |
| II | マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成 |
| III | スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築 |
| IV | 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成 |
| V | スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成 |

道府県・政令市名【 岐阜県 】

1 実践テーマ	【 V 】
2 実施対象者	学校名：岐南町立北小学校 全校児童：390名
3 展開の形式	(1) 学校における活動 ① 教科名（ 学級活動・体育 ） ② 行事名（ ） ③ その他（ ） (2) 地域における活動 ① イベント名（ ） ② その他（ ）
4 目標 (ねらい)	<ul style="list-style-type: none"> ・オリンピックから実技指導を受けることを通して、スポーツに対する興味・関心を高めるとともに、スポーツを楽しむ心を育成する。 ・オリンピックから体験談を聞くことを通して、目標をもつことの大切さやあきらめない心の大切さを学ぶことができる。
5 取組内容	<p>(1) 事前指導</p> <ul style="list-style-type: none"> ・オリンピックについて理解を深める。(学活) (内容)・2020年に東京でオリンピックが開かれること ・2016年リオ大会での金藤選手の活躍 など <p>(2) 当日</p> <ul style="list-style-type: none"> ・リオオリンピック水泳女子200m平泳ぎ金メダリストの金藤理絵さんから、体育館にて全校児童対象に、「あきらめない心」と題して講演を聞いた。 ・パワーポイントやビデオなどの視聴を交えての内容だったので、低学年の児童も集中力を切らさずに、真剣な姿で話を聞くことができた。
	 

	<ul style="list-style-type: none"> •その後、4～6年生を対象に、体育館にて簡単なストレッチや体幹トレーニングを行った。 •金藤さんと一緒に給食を食べ、交流を深めることができた。  <p>(3) 事後</p> <ul style="list-style-type: none"> •講演を聞いた感想や、実技指導を受けたお礼の手紙を全校児童が書き、金藤さんに届けた。 •本校には体力向上に向け、全校で取り組む3つの体育行事がある。 <ol style="list-style-type: none"> ① 運動会（9月） ② 持久走取組（12月） ③ 北小ギネス・大縄跳び大会（1月） <ul style="list-style-type: none"> •これらに取り組む前に、金藤さんから講演いただいた内容を振り返り、一人一人が目標をもち、「あきらめない心」で練習しようと取り組んだ。その結果、仲間とともに、心も体も鍛え合い、充実した時間を積み重ねることができた。
6 主な成果	<ul style="list-style-type: none"> •オリンピックに実際に来ていただいたことにより、スポーツに対する児童の興味・関心が向上した。（事後の児童の感想より） •金藤さんの講演から、「あきらめない心」の大切さを理解し、心の弱さを克服しようと努力する姿が見られた。（その後の児童のがんばり等） •高学年は、教えていただいたストレッチや体幹トレーニングを、その後の体育の授業で取り入れ、体力の向上に努めている。 •児童が、あこがれをもち、目標をもつことの大切さを実感することができた。（5年生は道徳の授業「希望と勇気、克己と強い意志」の項目を扱った）
7実践において工夫した点（事業の特色）	<ul style="list-style-type: none"> •水泳競技という特性から、実技が天候に左右されることもあるため、雨天の場合の実技についても計画を立てておいた。晴天の場合は、学年ごと（2クラス）で水泳の実技を行うように計画した。 •講演については、低学年の児童にも理解できるように、分かりやすくプレゼンを作成していただいた。
8主な課題等	<ul style="list-style-type: none"> •学校の規模にもよるが、できる限り多くの児童が実技を体験できるとよい。 •雨天時の内容も併せて考え、児童にとってよりよい活動となるようにしたい。
9来年度以降の実施予定	<ul style="list-style-type: none"> •体力の向上を核にした「北小体力向上プロジェクト」を立ち上げ、継続して運動に親しむ児童の育成を目指したい。 •今回は水泳であったが、県のトップアスリート事業も積極的に活用し、様々な種目にも目を向け、自分に合ったスポーツに取り組むことで、体力の向上を図りたい。